

# 安城市内景況調査結果 (2022年7月～9月)

<円安・原材料高の影響が大きい>

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 100企業
2. 調査対象時期 2022年7～9月期  
(1)前年同期(2021年7～9月)と比べた今期の状況  
(2)今期と比べた来期(2022年10～12月)の先行き見通し

### 3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸売業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	24	21	24	23	8	100
構成比	24.0%	21.0%	24.0%	23.0%	8.0%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると右記の表のとおり、△4.0ポイントとなり、業況が悪化していることが分かる。特に製造業や建設業の売上単価や収益状況が顕著であり、円安や原材料高の影響が大きいのではないかと考えられる。

	前年同期比 (前 回)	前年同期比 (今 回)	来期の 見通し
業況判断	△2.0	△4.0	△2.0
売上高	2.0	△1.0	3.2
売上単価	△17.7	△16.2	△12.1
資金繰り	△4.2	△5.1	△2.1
借入難度	0.0	△3.1	△3.2
収益状況	△23.0	△19.4	△18.2
雇用人員	△5.1	△4.0	△6.1

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全 産 業											
		製 造 業		小 売 ・ 卸 売 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業		そ の 他			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△4.0		△16.7		14.3		△16.7		△4.3		25.0	
	売 上 高	△1.0		△8.3		20.0		△12.5		△8.7		25.0	
	売 上 単 価	△16.2		△12.5		0.0		△41.7		△13.0		0.0	
	資 金 繰 り	△5.1		△12.5		10.0		△12.5		△21.7		50.0	
	借 入 難 度	△3.1		0.0		5.3		△12.5		△9.5		12.5	
	収 益 状 況	△19.4		△29.2		0.0		△47.8		△13.0		25.0	
	雇 用 人 員	△4.0		△4.2		△15.0		△12.5		8.7		12.5	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△2.0		△22.7		△4.8		12.5		4.3		0.0	
	売 上 高	3.2		△8.7		△5.3		4.3		27.3		△12.5	
	売 上 単 価	△12.1		△13.0		△14.3		△33.3		13.0		△12.5	
	資 金 繰 り	△2.1		0.0		△5.3		0.0		△4.5		0.0	
	借 入 難 度	△3.2		△4.3		△5.3		0.0		△10.0		12.5	
	収 益 状 況	△18.2		△26.1		△23.8		△20.8		△4.3		△12.5	
	雇 用 人 員	△6.1		0.0		△14.3		△20.8		8.7		0.0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。  
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。